


東京植物検疫協会は国際植物防疫年 2020 のオフィシャルサポーターです。 

令和 2 年度第 2 回理事会開催

―賦課金等の減額率、20%から 10%へ変更。令和 3 年度第 53 回総会終了後の 6 月 1 日より―

当協会令和 2 年度第 2 回理事会が去る 10 月 22 日、KKR ホテル東京において開催された。田邊会長があいさつを行った後、議長に就任して審議が行われた結果、上程された各議案はすべて原案通り承認された。

第 1 号議案『令和 2 年度上半期業務報告、収支計算報告』では、(1) 令和 2 年度上半期に、東京港において当協会が取扱った輸入植物検査貨物は 989 千ト(検査ベース。但し、切花、球根、木材等を除く。)で、前年同期比 2.7%の減少であった。本船貨物では、果実の主力であるバナナが、前年同期比 2.8%の減少、パイナップルは 27.4%の大幅増、キウイフルーツは 8.2%減少した。かんきつ類は G F 12.0%の減少、オレンジ 38.0%と大幅増、レモンも 53.7%の大幅増だった。本船小麦は 1.8%の減少となった。一方、コンテナ貨物は、1,259 本減少し、36,841 本だった。こく類ではモルトが 313 本の大幅減だったが、コメが 178 本増加し、全体では 183 本減少した。ダイズが 1,413 本の大幅減となり、まめ類全体で 1,409 本減少した。減少が続いていた乾牧草が回復し、アルファルファヘイが 661 本、チモシーヘイ 897 本、スーダンヘイ 104 本と大きく増加し、乾牧草全体で 1,720 本増加した。嗜好香辛・葉染料は大きな変動はなく全体で 36 本減少した。野菜類は 667 本減少の 6,858 本であった。主力のタマネギが 559 本の大幅減、ナガネギが 177 本の減少、キャベツは 108 本増加した。果実は全体で 1,386 本の大幅な減少となった。かんきつ類は本船貨物に反して、G F 54 本増、オレンジ 442 本減、レモン 474 本減だった。その他ではアボカドが 304 本減、パイナップル 246 本減、キウイフルーツ 136 本減、バナナが 176 本増、ブドウ 158 本増だった。輸出用木材こん包材消毒証明件数は 1,028 件で、前年から 281 件減少した。(2) 25 年度 6 月から賦課金・立会料の減額率を 20%にした減額請求措置を継続して 8 年目となっている。本年度上半期の同収入は 7,389 万円(減額の金額 1,796 万円)と前年同期比 2.2%減ではあったが、通年予算の 56%となり、見込みより好調であった。(3) 広報活動は、定期的に発行される当協会の「東京植検だより」や植物防疫所、全植検協の機関紙をはじめ、関連のポスターやパンフレットなどを配布したほか、様々な検疫情報、現場情報をホームページ等により、広く関係者に提供した。また、日頃各地から寄せられる問い合わせ、相談などに適切に対応するな

ど東京港における植物検疫業務等が円滑、的確、かつ安全に推進されるよう努めた。(4) 関係当局及び諸団体との連絡・協調を図り、特に全植検協については、田邊会長が理事・副会長として、また事務局においても各種委員として、同協会の運営に協力した。また、農水省植物防疫課も参加する「植物検疫関係団体連絡会」において検疫現場の状況を報告し、問題点を提起するとともに、検疫情報を直接入手した。さらに、近在協会とも定期的に連絡会を開き、意見・情報交換などに努めた。(5) 昨年 10 月に請求・統計システムの新システムを稼働させたが、運用する中で見つかった不具合についてはソフト開発会社と打ち合わせをして改修した。(6) 車両を 1 台減らし、車両購入支出の削減と管理費の抑制ができた。現場が輻輳した際はカーシェアリングを利用して対応した。―など本年度の主要事項と収支状況について報告が行われ、本案は異議無く承認された。

第 2 号議案『賦課金等の減額請求措置の令和 3 年度の取扱いについて』(1) 平成 14 年度末、当協会の年度繰越額が 2 億円を超える過大なものとなったので、これを是正するため、平成 15 年 6 月から、賦課金及び立会料(輸出梱包材の消毒証明料を除く。)の一律「20%」減額請求を 6 年間行ってきた。しかし年度繰越額が適切な水準に近付いてきたため、21 年度から減額率を「10%」に変更し、平成 25 年度から減額率を「20%」に変更している。本措置の次年度における取り扱いについては、毎年、年度前半の業務量及び収支状況などを勘案して、この第 2 回理事会において協議することとなっている。(2) 本年度上半期の取扱業務量は第 1 号議案で報告したとおり前年同期比 2.7%減で、上半期の賦課金等収入は、主力のコンテナ貨物、本船貨物の輸入の減少率が想定したほどではなく、通年予算に対して 56%の達成率となっている。これはコロナの影響が比較的短期間に解消されたことと、東京五輪の来年への延期で、東京港離れが、上期はさほどではなかったと考えられる。ただ一部貨物の他港へのシフトは下期もその傾向は続くと思われる。延期された東京五輪を控え、上期以上の減少は想定せざるを得ず、昨年度より 3,000 本ほど減少するものと考えている。(3) 今後、想定外の支出が発生しないと仮定して、経費節減に努めた場合、最終的な赤字額は 30 百万円ほどになると思われる。その場合、令和 2 年

度末の令和3年度への繰越額は130百万円程度が見込まれる。(4) この繰越額は来年については、東京五輪の開催や、青海埠頭の再編に関わる改修工事も予定されており、東京港を回避する動きも更には大きくなると想定され、適切な繰越額の1億円を割り込むことも想定せざるを得ない。従って安定した協会運営のために、令和3年度については賦課金の減額率を10%に戻すことを提案することとしたい。(5) ただし、輸入量の減少に当たっては業務の効率化、並びに経費の節減によって繰越額の減少を極力抑え、輸入量が以前の水準に戻り、繰越額が安定的な協会運営が可能な水準になった場合、再度20%に減額率に戻すこととしたい。

一本案について全員意義なく承認された。

その他として事務局より令和3年の賀詞交歓会については新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、中止とする旨報告がなされた。

また、第52回総会が書面で行われたため、行われなかった前田前会長の退任挨拶が行われ、2年間の任期中の関係各位のご協力に謝意が述べられた。

イスラエル産ハス種アボカド生果実の

条件付き輸入解禁について

令和2年10月8日付でイスラエル産ハス種アボカド生果実が条件付きで輸入解禁された。同国はチチュウカイミバエ発生国のため、寄主植物であるアボカド生果実は、輸入禁止されていた。

○主な輸入条件は、次のとおり

イスラエルから発送され、他の地域を経由しないで輸入されるハス種のアボカド生果実（成熟したものを除く。）で、船積貨物又は航空貨物として輸入されたものであること。イスラエル植物防疫機関が指定した生産園地で生産され、検疫有害動植物についての汚染防止措置が講じられた指定こん包施設でこん包されたものであること。植物検疫証明書には、チチュウカイミバエに侵されていないものであること。指定生産園地で生産されたものであること。指定こん包施設で梱包されたものであることの特記事項が記載されていること。

各こん包又は束ねたこん包には、イスラエル植物防疫機関による封印がなされ、輸出植物検疫が終了、及び仕向地が日本である旨の表示がなされていることなどとなっている。詳細については、植物防疫所ホームページをご確認下さい。

エジプト産かんきつ類生果実の

条件付き輸入解禁について

令和2年11月2日付でエジプト産かんきつ類生果実が条件付きで輸入解禁された。同国はチチュウカイミバエ発生国のため、寄主植物であるかんきつ類生果実は、輸入禁止されていた。

○主な輸入条件は、次のとおり

エジプトから発送され、他の地域を経由しないで輸入されるかんきつ類生果実であって、船積貨物として輸入されたものであること。エジプト植物防疫機関により指定された低温処理コンテナで規定された温度と時間で消毒すること。なお、低温処理条件の温度と時間が異なり、主な種類ごとの低温処理温度と時間は以下の通り。
オレンジ等：生果実の中心部の温度が摂氏2.0℃で16日間、又は摂氏3.0℃で20日間その温度以下で消毒すること。
マンダリンとオレンジとの交雑種等：生果実の中心部の温度が摂氏2.0℃で18日間、又は摂氏3.0℃で20日間その温度以下で消毒すること。

レモン等：生果実の中心部の温度が摂氏2.0℃で16日間、又は摂氏3.0℃で18日間その温度以下で消毒すること。
グレープフルーツ等：生果実の中心部の温度が摂氏2.0℃で19日間、又は摂氏3.0℃で23日間その温度以下で消毒すること。

マンダリン等：生果実の中心部の温度が摂氏2.0℃で23日間その温度以下で消毒すること。

クレメンティン等：生果実の中心部の温度が摂氏2.0℃で16日間その温度以下で消毒すること。

消毒が行われた生果実の各こん包には、輸出植物検疫が終了している、及び日本向けである旨、表示されていることなどとなっている。詳細については、植物防疫所ホームページをご確認下さい。

令和3年賀詞交歓会中止のお知らせ

毎年1月に開催しておりました新春恒例の当協会賀詞交歓会につきましては、新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえ、中止とさせていただきます。

東京植物検疫協会事務局人事

○9月30日付

退職（再雇用期間満了）

大関 好秋（業務グループ参与）

*10月1日付 臨時雇用（業務グループ）

会 員 ・ 役 員 の 異 動 （令和2年10月1日～令和2年11月30日）

☆入会会員

10月1日	㈱ M C ア グ リ ア ラ イ ア ン ス [商社]	〒100-0004	千代田区大手町1-3-7	☎ 03 (6212) 5185
10月30日	双 日 ロ ジ ス テ ィ ク ス ㈱ [運輸]	〒100-8691	千代田区内幸町2-1-1	☎ 03 (6871) 4364
11月1日	三井物産リテールトレーディング㈱ [商社]	〒100-0004	千代田区大手町1-2-1	☎ 070 (3661) 8028
11月2日	㈱ ネ ク ス ト ・ ク リ エ イ シ ョ ン [商社]	〒105-0012	港区芝大門1-16-4	☎ 03 (6452) 8813

👁️ タイム eye 📷

業務グループ 植物検疫くん蒸安全旬間を実施

11月1日から11月10日まで植物検疫くん蒸安全旬間が実施された。本旬間は当協会と防除業者、植物防疫所指定消毒施設所有者と植物検疫くん蒸の安全対策を確認し、事故のない安全なくん蒸実施を目指して自主点検と安全への啓発期間として行われている。

安全旬間実施に先立ち、各消毒施設に植物検疫くん蒸安全旬間の啓発ポスターの配布をして期間中の掲示を依頼。協会内では植物検疫対象貨物のコンテナ内にくん蒸ガスを封入して輸入される場合に事前に輸入者等に確認し、ガス検知を行っていることから、ガス検知器具、防毒マスクの点検・交換・補充を行った。また近年では協会では検知に対応していないオゾンガスやフッ化スルフルルなどによる消毒がコンテナ内で行われていることがあり、書類でのコンテナ消毒の有無の確認を行い、必要な場合は輸入業者に防除業者への検知依頼を要請するように職員に徹底した。

例年、安全旬間期間中に職員と防除業者で消毒施設を訪問し、安全対策の確認ミーティングを行っているが、本年はコロナ禍の中での訪問となるため、事前に訪問の許可を消毒施設からいただき、感染防止対策のマスクの着用と手指消毒薬を持参し、消毒を実施したうえで可能な限り距離をとってのミーティングとなった（写真）。



ミーティングにおいては検疫くん蒸実施時までに施設内にいる人に周知し、関係者以外の人近づかないようにすることが重要なことから、施設内での周知方法の確認とヒヤリハット事案の報告、くん蒸設備の工事予定の有無の確認などを行った。また、今回の消毒施設訪問に際しては横浜植物防疫所東京支所の防疫官にも同席していただき、くん蒸を安全に実施するためのアドバイザーとして助言を戴いた。

安全旬間期間終了後、当協会にて防除業者との安全旬間の総括ミーティングを行い、今後とも安全旬間を有効活用し、より一層、植物検疫くん蒸の安全な実施を目指すことを確認し、本旬間を終了した。

(大西 洋)

業務グループ フィリピン産ドリアン生果実の輸入

10月16日、大井埠頭にフィリピン産のドリアン生果実が輸入され、検査の結果は無事合格となった。

フィリピン産のドリアン生果実は、輸入禁止品ではないため、特別な規制はなく、申請時に輸出国政府機関が発給する検査証明書（Phytosanitary Certificate）を添付して、輸入検査を受ける必要がある。

今回輸入された、同国産ドリアンは、リーファーコンテナ内に、BIN ボックスに積まれるといった従来東京港に輸入されるタイ産やベトナム産のカートン梱包の荷姿と違い、珍しい形態で輸入された（写真）。



日本に輸入されるドリアン生果実の植物検疫統計による全国輸入量（2019年）は、タイ、ベトナム、マレーシア、フィリピンの4か国から371トンを輸入され、タイ産が296トンと全体の約8割を占め、次にベトナム産74トンとなっている。過去20年ほどの統計を見ても、タイ産が大半を占め、ベトナム産は昨年ごろから輸入量が増え始めたようである。ドリアンは2000年代後半から輸入量が落ち込んでいたものの、近年になって輸入量（前年対比142.2%）が増加しており、再び復調の兆しを見せている。

「果物の王様」と呼ばれるドリアンといえば、何と言っても、臭いと棘を有する外観が特徴的である。その臭いは、密閉された空間では異臭騒ぎになるほどである。しかし、味は何とも濃厚かつクリーミーで、カスタードクリームのような味がするようで、一般的には種子の周りの仮種皮（種衣）と呼ばれる部分を食す。東南アジアへ旅行に行った際に食べたなら病みつきになってしまったという話も聞く。栄養価も高く、マグネシウムやリン、銅などのミネラルが豊富で、ビタミンB1は果物全体の中でもトップクラスの含有量である。

中国では、生鮮ドリアンが人気を博しており、「ドリアンピザ」や「ドリアン鍋」など独自の料理を生み出すほか、健康食品としても女性からの支持を得ているようだ。

近年では、品種改良が進み、臭いの少ない品種が栽培され流通が広がっているようである。コロナ禍において自宅で過ごすことが多くなったこのご時世、普段は食べないものにチャレンジしてみるのもいいかもしれません。

(新藤 尋人)

東京港輸入植物品目別統計表

(1月 - 10月累計)

品目	単位	コンテナ詰			在来船積		合計	
		本数	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量
栽植用植物	個	43	1,862,378	328,215	0	0	1,862,378	328,215
栽植用球根類	個	92	17,547,096	0	0	0	17,547,096	0
アマリリス	"	7	64,296	0	0	0	64,296	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	83	16,376,400	0	0	0	16,376,400	0
栽植用種子	kg	275	2,312,331	81,671	0	0	2,312,331	81,671
草花・樹木	"	0	2,252	522	0	0	2,252	522
野菜	"	164	641,917	3,659	0	0	641,917	3,659
普通・特用作物	"	31	373,921	0	0	0	373,921	0
牧草・芝草	"	61	1,156,860	77,490	0	0	1,156,860	77,490
切花、切葉、切枝	個	1,643	242,738,148	2,889,780	0	0	242,738,148	2,889,780
アンスリウム	"	6	272,436	35,554	0	0	272,436	35,554
オンシジューム	"	175	5,882,230	134,590	0	0	5,882,230	134,590
キク	"	817	72,773,741	329,600	0	0	72,773,741	329,600
シダ(レザーフアン)	"	80	13,734,900	26,000	0	0	13,734,900	26,000
果実	kg	7,059	116,938,971	6,802,197	258,785,559	175,139,907	375,724,530	181,942,104
オレンジ	"	889	14,553,181	3,674	718,689	0	15,271,870	3,674
グレープフルーツ	"	530	10,830,751	295,353	7,902,821	178,474	18,733,572	473,827
タンジェロ(ミネオラ)	"	221	3,763,679	0	415,974	0	4,179,653	0
レモン	"	170	3,724,461	17,636	558,557	0	4,283,018	17,636
パイナップル	"	286	4,811,719	1,161,376	24,313,929	20,617,253	29,125,648	21,778,629
バナナ	"	1,141	18,921,010	4,261,526	198,018,691	154,344,180	216,939,701	158,605,706
マンゴウ	"	110	936,302	9,398	0	0	936,302	9,398
キーウイフルーツ	"	589	10,464,636	0	26,728,596	0	37,193,232	0
ブドウ	"	888	13,226,767	39,643	0	0	13,226,767	39,643
野菜	kg	11,849	230,188,639	1,861,856	0	0	230,188,639	1,861,856
カボチャ	"	481	11,516,633	1,271,175	0	0	11,516,633	1,271,175
サヤエンドウ(キヌサヤ)	"	11	78,004	0	0	0	78,004	0
パプリカ	"	93	947,114	4,950	0	0	947,114	4,950
メロン(ハミウリ含む)	"	159	2,775,005	0	0	0	2,775,005	0
キャベツ	"	509	11,567,136	0	0	0	11,567,136	0
セロリ	"	127	2,010,889	137,166	0	0	2,010,889	137,166
ナガネギ	"	1,546	21,416,639	0	0	0	21,416,639	0
ニンニクの芽	"	72	1,377,173	0	0	0	1,377,173	0
ハクサイ	"	67	1,117,545	27,795	0	0	1,117,545	27,795
ブロッコリー	"	291	2,724,471	179,884	0	0	2,724,471	179,884
レタス	"	293	3,455,579	35,371	0	0	3,455,579	35,371
タマネギ	"	3,412	83,519,345	26,000	0	0	83,519,345	26,000
ニンニク	"	628	9,908,506	110,322	0	0	9,908,506	110,322
アスパラガス	"	15	114,079	0	0	0	114,079	0
ゴボウ	"	228	5,816,818	0	0	0	5,816,818	0
サトイモ	"	50	1,041,900	14,000	0	0	1,041,900	14,000
ショウガ	"	381	8,800,713	0	0	0	8,800,713	0
ニンジン	"	1,137	30,099,090	0	0	0	30,099,090	0
こく類	kg	6,929	144,062,545	0	146,554,835	0	290,617,380	0
オオムギ	"	46	908,989	0	0	0	908,989	0
エンバク	"	335	7,337,413	0	0	0	7,337,413	0
コムギ	"	329	63,701,331	0	146,554,835	0	210,256,166	0
コメ	"	1,402	26,904,215	0	0	0	26,904,215	0
ソバ	"	145	2,918,139	0	0	0	2,918,139	0
トウモロコシ	"	304	5,450,838	0	0	0	5,450,838	0
モルト	"	4,285	92,762,035	0	0	0	92,762,035	0
まめ類	kg	5,623	112,917,872	75,080	0	0	112,917,872	75,080
エンドウ	"	45	967,861	0	0	0	967,861	0
ダイズ	"	5,216	105,115,821	0	0	0	105,115,821	0
ラッカセイ	"	165	3,529,807	75,080	0	0	3,529,807	75,080
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	3,096	47,481,880	0	500	0	47,482,380	0
カカオ	"	8	13,050	0	0	0	13,050	0
コーヒー	"	52	524,023	0	0	0	524,023	0
タバコ	"	526	9,664,003	0	0	0	9,664,003	0
アーモンド	"	858	14,244,798	0	0	0	14,244,798	0
クリ	"	23	358,246	0	0	0	358,246	0
クルミ	"	457	7,479,486	0	0	0	7,479,486	0
ポップコーン	"	286	5,776,183	0	0	0	5,776,183	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	24,824	564,619,675	500,129	90	0	564,619,765	500,129
乾燥牧草(ヘイ)	"	18,170	424,741,286	0	0	0	424,741,286	0
アニマルフィード	"	25	285,265	119	0	0	285,265	119
アルファルファヘイキューブ・ペレット	"	1,375	35,166,556	0	0	0	35,166,556	0
コーンコブミール	"	20	435,719	0	0	0	435,719	0
飼料用大豆カス、ペレット	"	254	5,877,274	0	0	0	5,877,274	0
ビートパルプペレット	"	269	6,283,905	500,000	0	0	6,283,905	500,000
イネワラ	"	225	3,832,486	0	0	0	3,832,486	0
ココピート	"	608	11,300,386	0	0	0	11,300,386	0
ココヤシ園芸資材	"	278	5,977,878	0	0	0	5,977,878	0
ビートモス	"	1,191	25,700,400	0	0	0	25,700,400	0
ミズゴケ	"	39	79,821	0	0	0	79,821	0
タケ	"	56	841,569	0	0	0	841,569	0
木材	m3	1	10	0	0	0	10	0
** 総合計 **	kg	59,655	1,218,521,913	9,320,933	405,340,984	175,139,907	1,623,862,897	184,460,840
	個	1,778	262,147,622	3,217,995	0	0	262,147,622	3,217,995
	m3	1	10	0	0	0	10	0

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含めない。